



平成30年度

5月号

4月27日発行

駒林小 学校便り

駒林小学校の特色は？

校長 片山博文

4月が終わり、新緑の5月に入ります。今年は桜だけでなく、ツツジの開花も例年になく早く訪れました。いつもなら、ゴールデンウィーク中に満開のツツジ見物に行くところですが、果たして今年はそれまで持ちこたえてくれるでしょうか。



さて、新年度が始まり、早一ヶ月が経ちました。1年生も転入生も私を含む新職員も、少しずつ駒林小学校に慣れてきています。4月に私がこの学校に着任してまず思ったことは「この学校にはいったいどんな特色があるのだろうか？」ということでした。前任校には、「実のなる木が多い。校庭が広い…」などいくつかの学校自慢がありました。では、この学校にはどんな自慢があるのか、子どもたちはどう思っているのかが知りたくて、4月9日（月）の朝会でその話をしました。そして子どもたち一人一人に「駒林小学校の一番好きなところは？」というアンケートを取り、結果を4月23日（月）の朝会で発表しました。保護者の皆様、地域の皆様にもその結果をお知らせします。

第1位（111名）…笑顔がたくさんある・みんな元気・友達や先生がやさしい・親切

第2位（85名）…歌声がきれい

第3位（47名）…ロープのピラミッド、鉄棒、築山などの楽しい遊具や遊び場がある

第4位（40名）…給食がおいしい

第5位（33名）…桜・イチヨウ・夏みかん・桑の実など自然が豊か



その他約40項目になりましたが、この結果を見て本校の特色がよく表れているものだと感心しました。



本校の学校教育目標は「笑顔いっぱい 未来に羽ばたけ 駒林の子」です。「笑顔いっぱい…」そう感じている子どもが111名と最も多かったわけです。このことはまさに学校目標が実現されていることの証といえます。

そして第2位は「歌声がきれい」。校歌を歌う子どもたちの声を初めて聞いた時、私だけでなく、今年度本校に着任した職員はみな、その歌声のきれいに驚きました。自分たちの歌声が自慢だと思っている児童が多いこと。これも駒林小学校がこれまで続けてきた教育活動の素晴らしい成果の一つだと思います。

自分たちの学校のよさをしっかりと感じながら学校生活を送れることは、子どもたちにとってとても幸せなことです。

自分たちの学校のよさをしっかりと感じながら学校生活を送れることは、子どもたちにとってとても幸せなことです。

そして、このような魅力に富む学校に着任できた私もとても幸せだと思っています。今までこの駒林小学校に関わってきた方々が培ってきた特色を大切にしながら、そのよさをどうつないで、どう伸ばしていくかが、今ここにいる私たち職員の責務であると感じています。

保護者の皆様、地域の皆様のお力をいただきながら、これからの教育活動を展開していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



